

パートナーシップ構築宣言

当法人は、医療・介護サービスを支える多様な取引先や関連事業者との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

- ・IT 実装支援

電子カルテ・介護記録ソフトとの連携、セキュリティ強化に関する助言、IT人材育成など、医療・介護現場のデジタル化を取引先と共に推進します。

- ・専門人材マッチング

医療・介護の専門職や管理職等の人材に関し、外部専門家とのマッチング機会を増やし、地域全体の人材確保に貢献します。

- ・グリーン化の取組

省エネ設備の導入や医療廃棄物の適正処理に関して取引先と連携し、環境負荷の少ない運営を実現します。

- ・健康経営の推進

職員の健康維持増進に向け、健康施策の共同実施やノウハウ提供を行い、医療・介護従事者が安心して働ける環境づくりを推進します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行的是正に積極的に取り組みます。

○価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

○手形などの支払い条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします

○働き方改革に伴う配慮

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

○知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

その他の取り組み

○事業活動におけるコスト削減や成果について、取引先との公正な分配に取り組みます。

令和 7 年 4 月 25 日

一般財団法人杏仁会
理事長 伊津野 良治